



能代第一中学校  
教諭  
田森 舞

## これが私の指導法

～知的財産の継承～

本校の研究の重点実践の一つに「生徒同士の“横のつながり”のある授業・活動」があります。そして「元気につなぐ」を授業テーマとして取り組んでいます。

## 我が校の実践

朴瀬小学校

教諭 谷内由起子

「自分の考えをもち、豊かに表現する子どもの育成」  
～確かな読解力を育てる授業づくり～

本校の研究主題は、「自分の考えをもち、豊かに表現する子どもの育成」～確かな読解力を育てる授業づくり～です。研究の重点を、(1)読み取る力を育成するための授業づくりと工夫、(2)表現や表現意欲を高めるための言語活動や言語環境の工夫とし、研究主題の具現化に努めています。重点に基づいた実践について紹介します。

美術の授業では、生徒が「なるほど」「おもしろい」と気持ちを含め、元気につないでから授業に入ることができるよう、導入の五分間を『アートタイム』と呼んでいます。実践をいくつか紹介します。

- ①「世界の美術館に出かけよう！」  
・ 図版などで美術作品を鑑賞し、感じたことをシートに書く。  
・ グループ内で発表する。  
・ 教師から簡単な解説がある。
- ②「伝絵ゲーム」  
・ 二人一組のペアになって行う。

### (1) 主体的に読み進める学習

複式学級では、学習リーダーを中心に学習を進める場面が多くなります。また、学力定着のため教師が個別に対応することも多々あります。そのため本校では一人学びと学び合いの充実を入れています。

一人学びにおいて示した読みの観点を基に、学習リーダーを核として学び合いを進めています。また、全ての子どもが学習リーダーになれるように、簡単なマニュアルを持たせています。複式学級を支える学びが、主体的な学びへとつながる実践です。

### (2) 語彙力を高める言語環境

全校で曜日を決め、朝学習で、「読書・言葉の学習・集会・読み方」に取り組んでいます。言葉のカードゲームや百人一首を上学年と行うことで、楽しみながら力を伸ばすことができます。また、六

- ・ お題からイメージした絵を三十秒で描く。
- ・ 描いた絵を相手に見せて何を描いたか当てる。
- ③「アートカード」を使って引いたカードにストーリーをつける「連続ドラマ」  
・ 「三つのヒント」をもとにカードを当てる
- ・ 作品の共通点を見つける「神経衰弱ゲーム」
- ④その他  
・ 東京オリンピックのエンブレム  
・ 審査員になって選んでみよう

年生が学校のリーダーとして下学年に教える場面が多く、児童同士による話し合いや学び合いが学校生活全体を通して行われており、コミュニケーションを通して子どもたちは語彙を豊かにしています。一人一人の子どもに目を向け、確かな学力を定着させられるよう、研究主題の具現化を目指して実践を積み重ねたいと思います。



・ 展示会の紹介 など

作品を鑑賞し、発表することによって「私と感じ方が違うね」と友達の新たな見方に気付いたり、描いた絵を見て「もっと○○したらしい」など、生徒同士がアドバイスしたりする場面が見られました。

今後も、生徒同士が元気につながる場面を設定し、意欲的な制作活動に繋げていきたいと思えます。



## 編集後記

暑さもようやく和らぎ、秋らしい空が広がっています。小学校はいよいよ学習発表会のシーズンですね。学習発表会は、「思いやりと感謝の気持ち」をもちながら「人が輝くまち」を創ることです。今年も趣向を凝らした様々な発表で、地域の方々へ感謝の気持ちをお届けさせていただきます。(A)